

平成 30 年度外部評価報告書

令和 2(2020)年 3 月
十文字学園女子大学

はじめに

十文字学園女子大学では、中期目標・中期計画及び年度計画を策定し、これを自己点検・評価の基準として、毎年自己点検・評価を行うこととしています。この点検・評価の結果について、妥当性と客観性を高めるため、大学評価ならびに高等教育の在り方について高い見識をお持ちの産官民学各分野の有識者に外部評価委員へご就任いただき、本学の教育研究及び社会貢献活動全般への助言をいただいています。

平成 30 年度は、平成 28 年度から進めてきました平成 32 年度からの学部学科のあり方について、結論を出すとともに、平成 31 年 4 月の文科省への設置届出、及び各種資格に関する申請の準備を行いました。平成 31 年度（令和元年度）は、新体制の学生募集活動が始まりますので、学部学科の魅力を伝えていきたいと考えております。

また、I R の活動の充実のため、学長室の設置や学生アンケートの在り方について見直しを図りました。I R 機能の充実は、大学の運営にとってこれから益々重要となってまいりますので、引き続き、外部評価委員会よりご意見・叱責・激励を頂戴できればと存じます。

さらに、平成 30 年度は、COC 事業の最終年度でもありました。事業は終了となりますが、これまでの実績を活かしたプロジェクトを継続するとともに、学生の学習の中に活かしながら、地域との連携を継続してまいります。

外部評価委員の方々におかれましては、本学の自己点検評価書ならびにそれに付随する資料の事前点検と外部評価委員会における討議や質疑応答により評価作業に当たっていただいております。いただいたご意見やご提言は、本学の基本理念や使命・目的の更なる実現に向け、今後の教育研究等の改善に役立てる所存です。

最後になりましたが、ご多用にもかかわらず、本学のために労をいとわずご協力いただいた外部評価委員各位に心より感謝申し上げます。

令和 2 年 3 月

十文字学園女子大学
学長 志村 二三夫

目 次

I 外部評価委員名簿

II 外部評価委員会による評価

III 参考資料

1. 外部評価委員会規程

2 外部評価委員会議事概要

①第 11 回十文字学園女子大学外部評価委員会（第 7 回総会）議事概要（案）

②第 12 回十文字学園女子大学外部評価委員会（第 8 回総会）議事概要（案）

I 外部評価委員名簿

【平成30年度】

氏名	職名	総会	大学改革 分科会	COC 分科会
アキタ キヨミ 秋田 喜代美	東京大学 大学院教育学研究科教職開発コース 教授 附属発達保育実践政策学センター センター長	○	○	
オオツカ ヌウサク 大塚 雄作	独立行政法人大学入試センター客員教授、 関西国際大学客員教授、 京都大学名誉教授、大学入試センター名誉教授	○	○	
カネコ ヒロシ 金子 廣志	新座市教育委員会 教育長	○	○	
キムラ マコト 木村 眞琴	株式会社ニコン 相談役	○	○	
ササキ マサミネ 佐々木 正峰	公益財団法人文化財建造物保存技術協会 前理事 長、国立科学博物館 顧問、元文化庁長官、 本学園顧問	◎	○	○
シバヤ ハルヨシ 渋谷 治美	放送大学 特任教授（埼玉学習センター所長） 埼玉大学名誉教授	○	◎	
スミヨシ ヒロユキ 住吉 廣行	松本大学 学長	○		◎
タナカ ヨウイチ 田中 洋一	東京女子体育大学 教授・学長補佐・地域交流センター所長 （学校法人藤村学園 評議員）	○	○	
ハギノ ゲンジロウ 萩野 源次郎	大和合金株式会社代表取締役社長	○		○
フジイ トシノブ 藤井 敏信	新座市都市計画審議会会長、新座市景観審議会 会長、東洋大学 名誉教授／地域活性化研究所 客員研究員	○		○
ヤマナ ミワコ 山名 美和子	歴史作家	○		○

※50音順

※◎は座長

※十文字学園女子大学外部評価委員会規程に基づき、一部委員の入れ替えを行った。

【令和元年度（平成31年度）】

氏名	職名	総会
アキタ キヨミ 秋田 喜代美	東京大学大学院 教育学研究科長・教育学部長 教育学研究科教職開発コース 教授	○
イワナガ マサヤ 岩永 雅也	放送大学 副学長 教養学部教授	○
オオツカ ユウサク 大塚 雄作	独立行政法人大学入試センター客員教授、 関西国際大学客員教授、 京都大学名誉教授、大学入試センター名誉教授	○
カネコ ヒロシ 金子 廣志	新座市教育委員会 教育長	○
キムラ マコト 木村 眞琴	株式会社ニコン 相談役	○
ササキ マサミネ 佐々木 正峰	公益財団法人 文化財建造物保存技術協会 前理事長、 国立科学博物館 顧問、元文化庁長官、本学園顧問	◎
スミヨシ ヒロユキ 住吉 廣行	松本大学 学長	○
タナカ ヨウイチ 田中 洋一	東京女子体育大学 教授・図書館長 (学校法人藤村学園 評議員)	○
ハギノ ゲンジロウ 萩野 源次郎	大和合金株式会社代表取締役社長	○

※50音順

※◎は座長

※十文字学園女子大学外部評価委員会規程に基づき、平成31年4月に委員委嘱（更新）を行った。

II 外部評価委員会による評価

(1) 総括

十文字学園女子大学は、総じて順調であると評価する。

(2) 優れた点及び今後期待する事項

- ・5年間のCOC事業を通し、十文字学園女子大学は社会における既存事業に参加するところから自主的な事業を開催するまで成長した。「教育」を学ぶ学生が、大学から出て学校現場でも学ぶというシステムを確立することができ、大学の専門性を地域に活かすこともできていると思う。これからは高齢者の健康や食の問題を考えるプロジェクトや、リカレント教育のシステムの確立など、研究と地域連携を結びつけるような活動に期待したい。

(3) 参考意見

- ・少子高齢化の流れの中で、海外の人材をどのように受け入れていくのかという課題がある。地域貢献の活動に留学生も参加させると長期間行ったCOC事業がさらに発展し、柔軟性や多様性をもった人材を育成するにあたり大きな意味があると思う。
- ・2020年4月に改組された3学部では、今後、社会との更なる信頼を築くためにも将来を見据えた運営を行ってほしい。新学部学科に期待したいと思う。
- ・教学IR推進のためには、各種学生からのアンケートを基にした評価体制の構築が望まれる。それにより、Web等ネットワークを活用して、効率よくデータを収集すると共に、教務データなどとのマージも試み、厚みのある分析を可能にする準備をしておくことが望まれる。

Ⅲ 参考資料

1. 外部評価委員会規程

十文字学園女子大学外部評価委員会規程

平成25年9月18日規程第138号

平成25年9月18日制 定

平成31年4月1日最終改正

(設置)

第1条 十文字学園女子大学(以下「本学」という)に、十文字学園女子大学大学評価規程第3条第一項第三号及び第10条に定める外部評価を実施する機関として、十文字学園女子大学外部評価委員会(以下「委員会」という)を置く。

(目的)

第2条 委員会は、本学が実施した自己点検・評価の結果について、妥当性と客観性を高めるため、学外者による検証及び評価を行う他、教員評価や教育研究及び社会貢献活動全般への助言を行う。

(組織)

第3条 委員会は、若干名の委員をもって組織する。

2 委員は本学の設置目的について理解のある学外の学識経験者等から、学長が選考し、委嘱する。

3 学長は、委員を委嘱した場合、委員の氏名・職名等を、速やかに自己評価委員会に通知するとともに、公表する。

(任期)

第4条 委員の任期は2年とする。但し、再任を妨げない。

2 委員に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(外部評価の実施)

第5条 委員は、本学が実施した自己点検・評価の結果を第2条の規定により検証し、優れた点及び改善を要する事項等を意見して、評価を付す。

2 事務局は、前項に定める委員の意見及び評価を外部評価報告書にまとめ、委員会の了承を得なければならない。

3 学長は、前項に定める委員会の了承後、外部評価報告書を自己評価委員会に報告する。

(事務)

第6条 委員会の事務は、企画評価部企画評価課が行う。

(雑則)

第7条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、学長が別に定める。

2 各部局が実施した自己点検・評価の結果についての外部評価は、この規程を準用し、部局毎に行う。

(規程の改廃)

第8条 この規程の改廃は、自己評価委員会の議を経て、教授会に報告しなければならない。

附則

1 この規程は、平成25年9月18日より施行する。

2 第4条の規定にかかわらず、この規程の施行後、最初に委嘱される委員の任期は、平成27年3月31日までとする。

附則

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附則

この規則は、平成31年4月1日から施行する。

参考：規程の変更事項

平成31年3月末日をもってCOC事業が終了したため、分科会形式を廃止し、平成31年4月1日から会議体を1本化した。これに伴い第3条第4項以降を削除した。

第3条

- 4 委員会に、次の分科会を置く。
 - 一 大学改革分科会
 - 二 COC分科会
- 5 分科会に座長を置き、委員のなかから学長が指名する。
- 6 学長は必要に応じて、合同分科会（総会）を開催する。

2. 外部評価委員会議事概要

①第11回十字学園女子大学外部評価委員会（第7回総会）議事概要（案）

日 時：平成31年3月29日（金）15:00～17:15

場 所：十文字学園女子大学7号館6階会議室

出席者：63名

〈外部評価委員〉佐々木委員（座長）、渋谷委員、金子委員、木村委員、住吉委員、大塚委員、田中委員、藤井委員、山名委員、萩野委員、秋田委員

〈法 人〉 十文字理事長、岡林本部長

〈大 学〉 志村学長、綿井副学長兼学長補佐、加藤副学長、佐藤副学長、小野副学長、狩野副学長補佐、星野地域連携推進機構 機構長代理、安達地域連携推進機構 地域教育開発部門長、名塚地域連携機構 副機構長、岡本事務局長、本間事務局長補佐、井上企画評価部長（司会）、瀬川企画評価課長、納企画評価主任、小林企画評価主任、小野企画評価員

〈陪 席 者〉 学科長、語学教育セクター長、留学生別科長、自己点検・評価委員、COC事業自己点検・評価委員、事務局の部長・次長・課長 他

冒頭、志村学長より開会の挨拶があった。

1. 第10回外部評価委員会議事要旨について

第10回外部評価委員会 第一部（COC分科会）議事要旨（案）、第10回外部評価委員会 第二部（総会）議事要旨について承認された。

2. 平成29年度外部評価報告書について

平成29年度外部評価報告書（案）について承認された。

3. COC事業の成果と今後の展望について

資料3-1（十文字学園女子大学 地(知)の拠点整備事業 COCの総括）、資料3-2（2019年度以降の地域連携について）、資料3-3（2019年度 COC事業 継続プロジェクト（案））に基づき、COC事業の成果と今後の展望について説明があり、意見交換を行った。

4. 学生アンケートについて

資料4（満足度・学習達成感などに関する学生アンケートについて）に基づき、学生アンケートについて説明があり、意見交換を行った。

5. 第三次教育体制改革 新体制のポリシーについて

資料5の第三次教育体制改革新体制のポリシーについて説明があり、意見交換を行った。

志村学長より閉会の挨拶、十文字理事長より謝辞があった。最後に事務局から次回の開催予定についての事務連絡があり、閉会となった。

以上

①第12回十字学園女子大学外部評価委員会（第8回総会）議事概要（案）

日 時：令和元年8月31日（土）10:30～12:30

場 所：十文字学園女子大学7号館6階会議室

出席者：51名

〈外部評価委員〉佐々木委員（座長）、金子委員、木村委員、住吉委員、大塚委員、萩野委員、岩永委員

〈法人〉十文字理事長、岡林本部長

〈大学〉志村学長、綿井副学長兼学長補佐、加藤研究担当副学長、安達教育担当副学長、小野募集入試担当副学長、星野地域連携推進センター長、岡本事務局長、本間事務局長補佐、井上企画評価部長（司会）、樫本企画評価部次長、瀬川企画評価課長、納企画評価主任、神保企画評価主任、小野企画評価員

〈陪席者〉学科長、自己点検・評価委員、事務局の部長・次長・課長 他

冒頭、志村学長より開会の挨拶があった。

1. 第11回外部評価委員会議事要旨(案)について

第11回外部評価委員会議事要旨（案）について承認された。

2. 平成30年度自己点検・評価報告書(案)について

平成30年度自己点検・評価報告書（案）について説明があり、意見交換を行った。

3. 平成30年度 卒業生・在校生アンケートの分析と対応について

資料3（満足度・学習達成感などに関する学生アンケート（卒業時及び在学生向け）の結果概要（全体傾向）（2018年度実施分））に基づき、平成30年度 卒業生・在校生アンケートの分析と対応について説明があり、意見交換を行った。

4. 令和元年度 新入生アンケートについて

資料4（新入生アンケートの結果概要（全体傾向）（2019年度実施分））に基づき、新入生アンケートについて説明があり、意見交換を行った。

5. 新教育体制における学位プログラムについて

資料5（十文字学園女子大学の学位プログラム（DP, CP, AP））に基づき、新教育体制における学位プログラムについて説明があり、意見交換を行った。

6. 新設学科について

資料6の各新設学科の資料について説明があり、意見交換を行った。

十文字理事長より謝辞があった。最後に事務局から次回開催予定についての事務連絡があり、閉会となった。

以上